



中村俊定文庫
文庫 18
695





その中よりふりかへるる



名り名るは始りて

冠羅

稲波平似筵

春蟻

行勝の出入る不雁据

全

節をふりてはしるは

全

鮠正書師匠

羅

才モ芳シ梅見連

全

春寒舟火燧

蟻

ウ

雨 一 掃 房 の 以 ち くる
何 の つ じ と 閨 の 窓 を 閉
おも へ へ 遠 を こ 束 の 松 山
道 山 草 鞋 破
笠 立 家 石 上 眠
捲 簾 風 筋 坐
声 苦 午 時 蟬
物 煙 を とも け 祈 ぶ
羅 全 蟻 羅 蟻 全 羅 蟻

恨 泣 姿 逾 胡
無 奈 落 花 月
ふ ぬ ぶ 家 へ くる 主 如 飯 帽
あ せ び しく 難 の 内 裏 へ 臨 時 客
能 竹 天 狂 哥 仙
風 の 移 移 へ 流 氏 中 衣
身 迄 の 法 會 二 なる け ち
ハ 葉 の 峯 旭 を 赫 け け
羅 全 蟻 羅 蟻 全 羅 蟻

一よ〜〜望のふき老一松
 あ〜中〜茶も〜〜
 女一車 袖一口 鮮
 鬼一尾 棟一角 古
 哀一問 日一高 川
 州ま〜〜名所〜の月
 隣一遐 砧一適 憐
 本心出侍り〜〜
 蟻 全 全 羅 全 全 蟻 羅

弄一テ 世一ッ 法一ハ 茶一ヲ 煎一ル
 有〜〜 齊物論
 蝶一ハ 飛一フ 牛一ノ 寝一ル 邊一リ
 花咲〜〜 日長ノ 里一ノ 月一丸
 春一ノ 夕一ト 愛一ス 幽一ク 玄一ヲ
 蟻 全 羅 蟻 羅

冠 羅
 春 蟻
 各十八句

煉興

鳴飛僧不夕

春蟻

小田の月よ始深き門

冠羅

危之友松よ紅紫をこま交

全

六位酒盛喧

全

五節、弦、哥、勝

蟻

晴し雪より白の痕

全

岩の石よ命をくむ葛網

羅

ささぎをたぐり子をひく猿

全

茶、麩、迎、客、巧

蟻

見よあしんを神を御存

全

源、遠、浮、橋、意

羅

相、機、竹、娜、掬

全

弦、月、光、仄、隠

蟻

露、次、寄、子、屯

全

胡、角、故、口、無、手、儂、震

羅

昆虫中の管絃と流ヒト孤村
 一隅知くそと恵のそとく
 短冊 動風 温
 管籥 笛 神前 近
 素袍子角を張し 梶原
 只今 惟 爽也 畠
 岨の 齧乃々々く 耳元
 本嵐の子を強ひて子
 羅 蟻 羅 左 左 蟻 左 羅

一の句子袖や軒
 膳 夕夕 蛭子 講
 吐 久 達 磨 尊
 無 一物 番 巾
 光 哉 源氏 言
 月 媽カサ 明石 海
 新法をよす 樽
 袖乞の坊屋よりの菊
 全 蟻 左 左 羅 左 蟻 左

老くけくく重文師の恩 蟻
 教遺 千金 瘰 羅
 大都 産業 繁 蟻
 花春 粧 似 錦 羅
 おくく壽く人の日如 饑

春蟻

冠羅

共十八句

附録秋鳥

京

歌々でさくさくよ中よ胡のさ 闌更
 蕙んまの男何さるる 原 重厚
 大原やまののびを秋の風 都雀
 夕暮るをさるるの如くし 嘯山
 水の好橋もさるる枯屋瓦 紫曉
 末枯りしんまののさるる 春坡
 名りし女細く流るる常らるる 志諺

明くもわおの浮きを羨しき 定雅

水あふみしる言さおの籠 丈左

いさよひのりく柳がまきとん椎 大坂 二柳

胡ももの雷なる物いさよ 旧國

山水の露しらすくお屋敷 月居

さよほのさやぐひ外 伊丹 東尾

お崎屋のちあゆま 伏水 あ丸

何あやうり 伊勢 碓氷の船 楳價

ちりり海をさし秋の雨 伊勢 滄波

さの月をうとく 尾張 五蓬

胡のあま 尾張 士朗

もの名志 尾張 羅城

りとも 甲斐 臥尖

えつ 越后 可都里

し 越后 桃路

あ 出羽 五明

あつたてんぬき菊の推つてま
稲あつたつてんぬきつてま
あの推つて今かほまの推つてま
あつたてんぬきの推つてま
あつたてんぬきの推つてま

江戸

鶏口
小知
泰里
魚洲
守中
素外

あつたてんぬき菊の推つてま
稲あつたつてんぬきつてま
あの推つて今かほまの推つてま
あつたてんぬきの推つてま
あつたてんぬきの推つてま

平砂
立和
園女
沾山

あつたてんぬき菊の推つてま
稲あつたつてんぬきつてま
あの推つて今かほまの推つてま
あつたてんぬきの推つてま
あつたてんぬきの推つてま

菊明
秀義
芳國

梧つゝふる人あひあひ
鴨居りかしのゆるくのあま
流るるるるるるるるるる

栢賀
秀川
巨山

立木の櫻くも雲を遊ば
いろはのうら山雲くぬぬ
名りかきかきかきかきか
夕しんかきかきかきかき

為明
雨付
成美
三千彦

からかきかきかきかき
名りかきかきかきかき
秋をゆく月影か海の上
月の都あひあひあひあひ
富るるるるるるるるるる

貞松
梅人
蓮車
午心
完來

秋のあま楠をさの雨を
心宿のいしと

冠羅
春蟻

寛政九丁巳歲

秋九月

東都書林

松本平助

